



おおとり

埴生中学校便り No.4

令和3年10月22日(金)

千曲市立埴生中学校

教頭 中山 和己

新型コロナ対策をしながら、2学期の学習を進めています

8月20日に2学期が始まりましたが、直ぐに新型コロナ感染警戒レベルが5に上がって、感染対策に気を配りながらのスタートとなりました。また、予定されている行事等の実施をどのようにするか、厳しい判断が求められる日が続いてきました。

そんな中でも、生徒たちは日々の教科学習に一生懸命取り組み、学級活動や部活動などで仲間と努力を重ねてきています。

9月の後半になって警戒レベルが下がってきたことも受け、各種行事にGOサインが出されて、少し心が晴れやかな感じになってきた気がします。そんな、学校の様子をお伝えします。やはり「行事を機会に生徒たちは伸びる」ことを、改めて感じさせられます。(コロナが一日も早く落ち着きますように…)

おおとり祭(文化祭) 2日間、楽しめました!

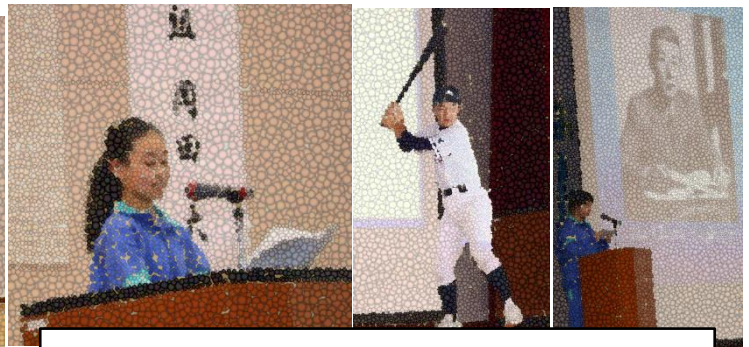
予定通り9月24日(金)25日(土)に実施することができました。残念ながら地域の皆様や来賓の方の参観はご遠慮いただくこととなりましたが、保護者の皆様には何とか見ていただくことができました。

生徒会役員をはじめ各学年・学級で、実施が不透明な段階から気持ちを切らずに準備を進めてきました。そのことが、2日間のおおとり祭に発揮されていて、みんなで楽しむことができました。コロナ禍での文化祭として、新たな型を示してくれたと思います。



開会宣言

ステージ
バック



(代表者による、学習の成果発表)

意見文発表・英語弁論・総合的な学習の時間



ダンス
コンテ
スト



マスクをしたままの特別な音楽会
(これもよい思い出になる日が…)

<おおとり祭> 櫻井業正生徒会長の感想から

おおとり祭の準備から役員全員と協力していろいろな仕事を行ってきました。途中、悩んだりキツイことがあったりしましたが、何とか「可能性を信じてBestをつくす」ことができていました。

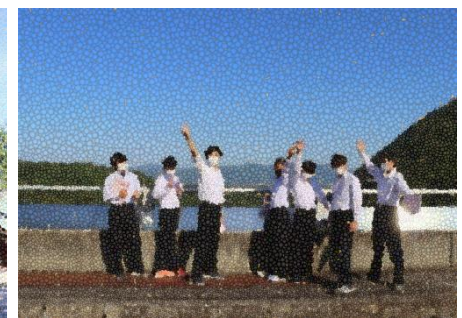
役員の劇の最後は、少し失敗してしまいましたが、失敗はつきものです。大切なのは、それをどう生かすかです。全校のみんなも、心を一つにし、笑い合い、Bestをつくっていたので、とても最高でした。

3年修学旅行も実施できました（大町方面へ一泊）

実施日直前に長野圏域の新型コロナウイルス感染症警戒レベルが2となり、当日はまさに秋晴れの晴天に恵まれ、3年生は修学旅行に行ってきました。当初計画した関西方面へ修学旅行については早々に変更を決めざるをえませんでした。県内での宿泊学習の実施に何とかこぎつけることができました。

生徒にとっても職員にとっても久しぶりの校外学習や宿泊学習で、楽しみ半分・不安半分での出発でした。「現地で実際に見たり聞いたりの学習をし」「学校で培った友達と協力した集団行動をして」「全員無事に帰ってくる」という3つの目標を達成して、大満足の修学旅行となりました。

【1日目】（黒部ダム→大町エネルギー博物館・若一王子神社・大町ダム情報館）



【宿泊】（大町温泉郷 緑水亭「景水」）

【2日目】（フォッサマグナミュージアム→戸隠神社中社）

